

# 令和3年度愛別町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

愛別町は耕地面積の約9割が水田であり、主食用米（うるち・もち・酒造好適米）、水稲を中心とした生産調整作物（飼料用米（玄米・もみ米サイレージ）・WCS用稲・加工用米）、土地利用型作物（麦・大豆・飼料作物・そば等）及び野菜の生産振興により水田を活用した農業を推進している。

ほ場の大区画化と透排水性の改善を図るため、平成29年度から国営緊急農地再編整備事業によるほ場整備工事が実施されており、事業完了までの今後10年程度は毎年約100ha～150haの工事面積を予定していることから、事業期間中における水稲作付面積の確保を図るとともに、ほ場整備の効果を更に高めるため、ICT技術を活用した作業体系の見直し等によって作業の効率化・省力化を実践し、収益性の高い農業を展開していくことが課題となっている。

## 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

ほ場整備工事によるほ場条件の改善やICT技術の活用によって水稲生産の作業効率が向上するため、生じた余剰労働力を施設野菜などの高収益作物の導入につながるよう支援を行う。また、作物の作付けほ場については、変形地や透排水性等の条件が良くないほ場が多く、土壌改良材の投入や堆肥の施用等による土質の改善や明渠・暗渠や心土破碎などの排水対策に係る支援を行うことで転作作物の付加価値向上と収益力の強化を図る。

## 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の畑地への転換については、離農後の売買や賃貸に影響があり、担い手への農地集積にも関係してくることから、現在まで推進をしておらず、現時点において畑地化を見込む水田を想定することは困難であるが、作物ごとの作付け状況を地図化して、畑作物のみの生産が続いている水田については現地確認による点検を実施し、農業者に対する今後の作付け意向の聞き取り等によって、水稲作付に活用される見込みがないと判断したほ場については、畑地化支援の活用を促し畑地化を推進する。

## 4 作物ごとの取組方針等

### （1）主食用米

売れる米づくりを目指すため、愛別町米麦生産振興協議会で定める栽培基準の徹底により低タンパク・高整粒の高品位米の生産を推奨しており、Yes!clean や特別栽培等の作付面積の拡大を推進している。

また、高密度播種や直播による育苗作業、自動操舵技術を活用した耕起・田植え作業、自動水管理システムによる水管理、ドローンを活用した防除、リモートセンシング技術を活用した生育状況の確認など一連の水稲生産作業に応じた効率化・省力化技術の導入を推進することで、生産コストの減少を目指し収益の向上を図る。

### （2）非主食用米

#### ア 飼料用米

畜産農家への安定的な供給を行うため、多収性品種の導入や複数年契約の取組により必要とされる数量を確保していくとともに、ほ場整備工事の実施期間においても必要な

作付け面積を確保する。また、生産ほ場の団地化を推進することで作業効率の改善を図り、生産コストを抑えることで収益の向上を図る。

#### イ 米粉用米

町内において米粉用米の生産は行っていないが、実需者からの要望があった場合は、生産の振興を図る。

#### ウ 新市場開拓用米

現在のところ海外への輸出などの新市場開拓の取組みは行っていないが、海外輸出用の日本酒生産のために実需者から酒造好適米の生産要望などがあった場合は、生産の振興を図る。

#### エ WCS用稲

畜産農家への安定的な供給を行うため、多収性品種の導入や複数年契約の取組により必要とされる数量を確保していくとともに、ほ場整備工事の実施期間においても必要な作付け面積を確保する。また、生産ほ場の団地化を推進することで作業効率の改善を図り、単位生産コストを抑えることで収益の向上を図る。

#### オ 加工用米

国営緊急農地再編整備事業によるほ場整備により、作付面積の増減が予測されることから、飼料用米やWCS用稲とあわせた作付面積の調整が必要となるが、実需に応じた安定供給が求められていることから、複数年契約の取組により生産を推進する。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

#### ア 麦

実需ニーズに応じた秋小麦・春小麦の生産を振興し、土壌改良資材の投入、明渠・暗渠の整備、心土破碎、均平整地などの排水対策、土壌診断に基づく堆肥の施用、農薬散布による除草対策、適期防除による病害虫対策などの基本技術を励行することで収量の確保と高品位・高品質の生産を推進する。また、生産ほ場の団地化を推進することにより、作業効率の改善を図る。

#### イ 大豆

土壌改良資材の投入、明渠・暗渠の整備、心土破碎、均平整地などの排水対策、土壌診断に基づく堆肥の施用、狭畝密植栽培や農薬散布による除草対策などの技術を励行することで収量の確保と高品位・高品質の生産を推進する。また、生産ほ場の団地化を推進することにより、作業効率の改善を図る。

#### ウ 飼料作物

飼料米等とあわせて需要が求める品質の牧草、デントコーン、その他飼料作物の生産振興を図る。また、生産ほ場の団地化を推進することにより、作業効率の改善を図る。

### (4) そば

高品位のそばの生産と収量の確保を図るため、土壌改良資材の投入、明渠・暗渠の整備、心土破碎、均平整地、耕うん同時畝たて播種などの排水対策、土壌診断に基づく堆肥の施用、農薬散布による除草処理などの基本技術を励行することで湿害を防ぎ、収量の確保と高品位・高品質の生産を推進する。また、生産ほ場の団地化を推進することにより、作業効率の改善を図る。

(5) 高収益作物

「きゅうり・米なす・トマト・ミニトマト・ビーツ」を重点振興野菜、「アスパラ・かぼちゃ・ねぎ」を振興野菜、「サヤインゲン・ししとう・スイートコーン・生食用ばれいしょ・春菊・オクラ・メロン・枝豆・わらび」を奨励野菜と設定し、花き（トルコキキョウ・ソリダコ）とあわせた生産の振興を図る。

**5 作物ごとの作付予定面積等**

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定 面積等 (ha)	令和5年度の作付 目標面積等 (ha)
主食用米	848.61	806.83	790.00
うるち	537.22	510.15	510.00
もち	282.48	263.70	250.00
酒造好適米	28.91	32.98	30.00
飼料用米	109.05	141.97	150.00
玄米	33.78	69.46	75.00
もみサイレージ	75.27	72.50	75.00
米粉用米	—	—	—
新市場開拓用米	—	—	—
WCS用稲	22.02	15.84	20.00
加工用米	88.70	80.16	90.00
麦	12.02	15.14	15.00
大豆	33.94	52.16	55.00
飼料作物	152.77	139.25	100.00
・子実用とうもろこし	—	—	—
そば	90.86	88.37	92.00
なたね	—	—	—
高収益作物	10.50	14.90	15.15
野菜	10.39	14.75	15.00
花き・花木	0.11	0.15	0.15
その他の高収益作物	—	—	—
ほ場整備	81.68	92.45	120.00
畑地化	0	0	0

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値		
				（令和2年度）	（令和5年度）		
1	飼料用米 WCS用稲	新規需要米生産 量確保助成	作付面積	131.07ha	170.00ha		
			飼料玄米	33.78ha	75.00ha		
			飼料SGS	75.27ha	75.00ha		
			WCS	22.02ha	20.00ha		
			供給量	1,251.3t	1,570.0t		
			飼料玄米	215.1t	495.0t		
			飼料SGS	651.9t	675.0t		
			WCS	384.3t	400.0t		
			収穫量（単収）	—	—		
			飼料玄米	637.0kg/10a	660.0kg/10a		
			飼料SGS	866.0kg/10a	900.0kg/10a		
			WCS	1,745.0kg/10a	2,000.0kg/10a		
2	飼料用米（多収 品種）	飼料用米取組推 進助成	作付面積	43.44ha	55.0ha		
			飼料玄米	9.97ha	15.0ha		
			飼料SGS	33.47ha	40.0ha		
			供給量	382.0t	483.0t		
			飼料玄米	81.5t	123.0t		
			飼料SGS	300.5t	360.0t		
			収穫量（単収）	—	—		
			飼料玄米	817.0kg/10a	820.0kg/10a		
			飼料SGS	897.8kg/10a	900.0kg/10a		
						（令和4年度）	
			複数年契約面積	94.55ha	95.67ha		
			複数年契約数量	635.2t	503.0t		
3	飼料用米	複数年契約助成	作付面積	94.55ha	125ha		
			出荷数量	635.2t	960.0t		
4	加工用米	加工用米取組推 進助成	作付面積	88.7ha	90.0ha		
			供給量	482.4t	513.0t		
			収穫量（単収）	543.8kg/10a	570.0kg/10a		
5	重点振興野菜	高収益作物生産助成 （重点振興野菜）	作付面積	2.14ha	2.50ha		
6	振興野菜	高収益作物生産 助成（振興野菜）	作付面積	7.32ha	12.00ha		
7	奨励野菜	高収益作物生産 助成（奨励野菜）	作付面積	0.49ha	0.70ha		
8	小豆・きび・奨 励野菜・花き	地域振興作物作 付助成	作付面積	2.65ha	2.50ha		
9	そば	そば作付助成	単収（小豆）	90.5kg/10a	95.0kg/10a		
			作付面積	90.86ha	92.00ha		
10	小麦・大豆・そ ば	収益力向上支援 助成	取組面積 小麦	—	12.0ha		

			大豆	—	44.0ha
			そば	77.91ha	81.0ha
			収穫量（単収）		
			小麦	267.5kg/10a	300.0kg/10a
			大豆	232.0kg/10a	270.0kg/10a
			そば	62.7kg/10a	67.5kg/10a
			取組実施率		
			小麦	—	80.0%
			大豆	—	80.0%
			そば	85.8%	88.0%
1 1	飼料用米・WCS用稲・ 小麦・大豆・飼料作 物・そば・小豆・きび	コスト低減支援 助成	対象作物作付面積	422.7ha	432.0ha
			団地化面積	240.4ha	259.2ha
			団地化比率	56.8%	60.0%

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。